

議会だより しすい

No.187

編集・発行/酒々井町議会 〒285-8510 千葉県印旛郡酒々井町中央台4-11

ホームページは「酒々井町議会」で検索してご覧ください ☎043-496-1171

平成30(2018)年5月1日発行

子どもが**笑顔**で過ごせる教育環境を 酒々井小学校入学式



酒々井小学校の入学式が4月10日に行われ、82人が入学しました。新入生は緊張しながらも担任の先生から名前を呼ばれると元よく返事をしていました。

平成30年度予算、議案審議 P2~P9

本会議、委員会での議案審議結果 P10~P11

まちづくり事業や子育て支援、福祉問題
など議員11名が町政を問う P12~P18

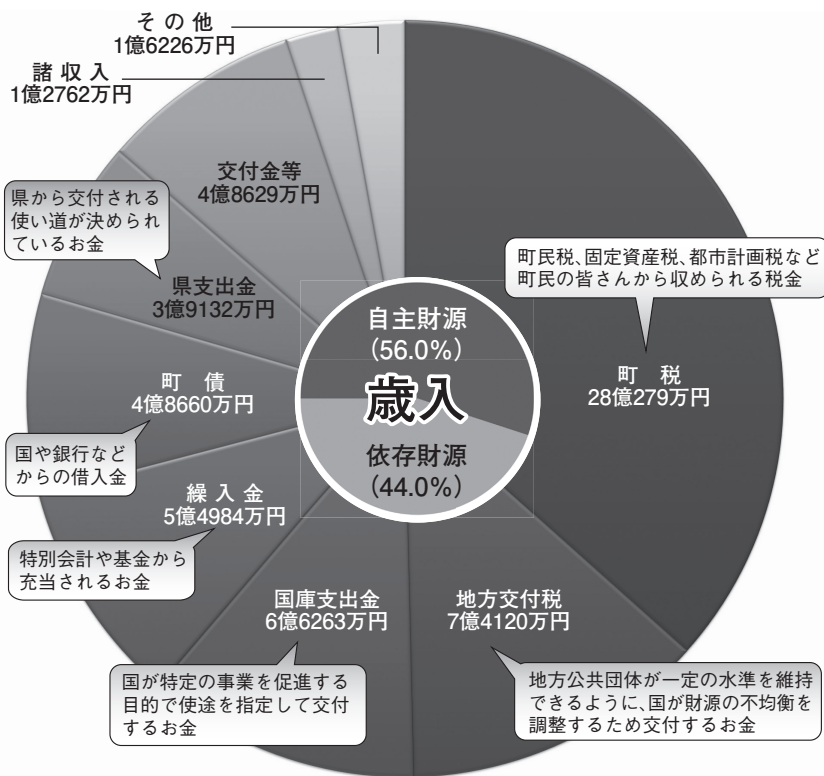


福祉・医療水準を堅持

民生費と衛生費で予算の37.8%(約24億2500万円)を占める

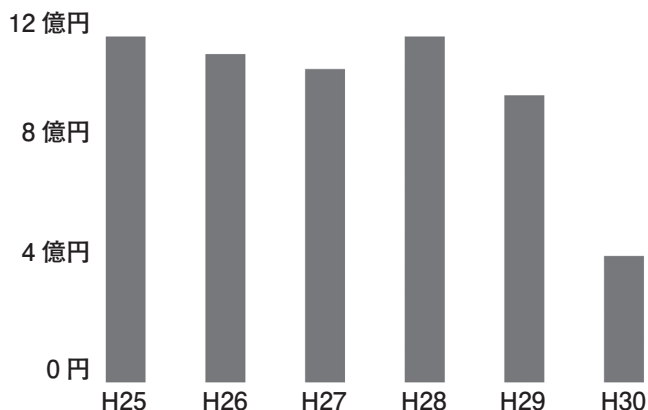
<歳入の概要>

町 税は、評価替で固定資産税は減少するが、個人町民税、法人町民税等の増加を見込み、前年度比90.8万円の増額。地方交付税は、自主財源の増加による影響等から前年度比3900万円の減額。国庫支出金は、障害者の社会福祉負担金等の増加により、前年度比2362万円の増額。繰入金は財政調整基金からの繰り入れの増加により、前年度比4462万円の増額。町債は、子ども子育て支援施設整備事業、中央公民館施設整備事業等の減少により、前年度比1億1120万円の減額となっています。

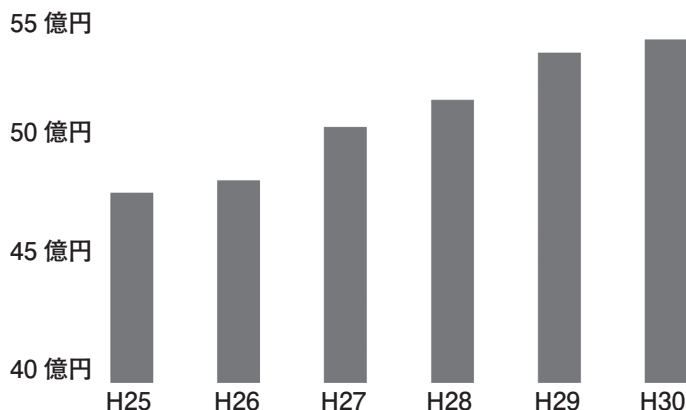


※千円単価は四捨五入しています。

<財政調整基金 (貯金) の推移>



<町債 (借金) 残高の推移>



※財政の不足を調整したり、急激な税の落ち込みや災害などに備えるための積立金です。

※道路や施設等を整備するために町が借り入れるお金ですが、近年、地方交付税で補われる地方の財源不足を国の財源不足から町が国の代わりに借金する「臨時財政対策債」の借入金残高が増加しています。

※数字はいずれも年度末で H29 および H30 は見込み額です。

ことば

自主財源とは、国や県等に依存しないで町独自に調達できるもので、町税、繰入金、負担金、使用料、手数料、財産収入、寄付金などがあります。また、依存財源とは、国や県等に依存して調達する財源で地方交付税、国庫支出金、県支出金、地方譲与税、地方債などがあります。

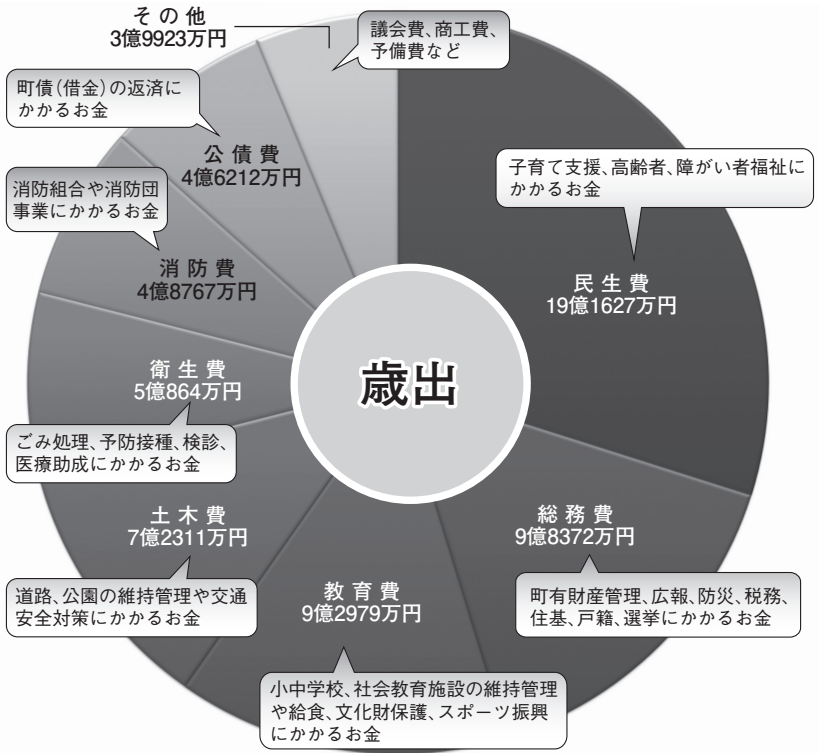
平成30年度当初予算

平成30年度予算額
64億1055万円

アウトレット効果で税収 **増**

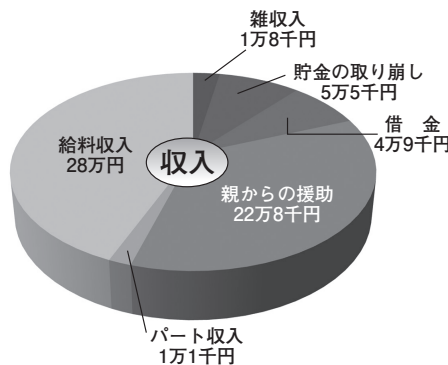
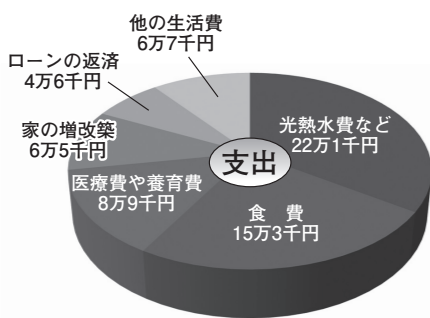
<歳出の概要>

総 務費は、防災資機材等備蓄施設整備事業等により、前年度の増により、前年度比6939万円の増額。民生費は、障害者総合支援事業等の増により、前年度比6939万円の増額。教育費は、公民館改修事業の終了等により、前年度比7349万円の減額。土木費は、社会資本整備総合交付金を活用した道路改良事業の減額等により、前年度比4866万円の減額。衛生費は、子ども医療費助成事業等の減額により、前年度比1327万円の減額。公債費は、臨時財政対策債の償還額の増加等から前年度比3791万円の増額となっています。



※千円単価は四捨五入しています。

平成30年度予算をひと月の家計に例えると



平成30年度の一般会計予算について、1億円を1万円に置き換えて、ひと月約64万円の家計に例えてみると、左のグラフのようになります。貯金の取り崩しや借金をしてやりくりすることになるため、昨年同様、家計は厳しい状況になりそうです。

<議案第11号から第14号 平成30年度各種会計予算額>

会計区分	一般会計	特別会計	国民健康保険	介護保険	後期高齢者医療
予算額	64億1054万5千円	39億8412万8千円	24億2232万6千円	13億369万2千円	2億5811万円
議決結果	議案第11号 可決 (賛成12人 反対3人)	—	議案第12号 可決 (賛成12人 反対3人)	議案第13号 可決 (賛成13人 反対2人)	議案第14号 可決 (賛成13人 反対2人)

平成30年度予算に関する賛成 反対 討論

厳しい中でも総合計画に基づいており **賛成**

越川 廣司 議員

大変厳しい財政状況の中、簡素で効率的な行政経営に努め、職員を意識改革と行政改革を行うなど、第5次後期基本計画の基本理念に基づいた将来都市像「人、自然、歴史が調和した活力あふれるまち酒々井」の実現のための6つの基本目標に向けた各施策に取り組んだ町長の4期目にふさわしい内容であり、高く評価する。

適切な配分であり **賛成**

御園生 浩士 議員

当町は、厳しい財源の中で、良き配分をしていることが予算書で読み取ることが出来る。町目標の「子どもから高齢者まで誰もがいきいきと輝くまちづくり」では、子ども子育て支援センターの開設により、充実した支援に、ふれ愛タクシーは、更なる充実を。「豊かな心を育み歴史を活かした文化創造のまちづくり」では、子どもたちの青少年交流、国際交流事業に特筆すべきものがある。「いつも安全で安心して快適に暮らせるまちづくり」では、防災行政無線

の拡充、再生可能エネルギー推進事業に見るべきものがある。「にぎわいと活力にみちた魅力あるまちづくり」では、農業、商業、工業およびサービス事業も計画的に行い、切れ目ない応援をしている。「町民と共に築く心がかような持続可能なまちづくり」では、町民やボランティア団体活動に良く理解を示している。予算実行にあたっては、更なる重点配分の見直し、節約費用対効果を期待し賛成する。

福祉タクシীর対象者の拡充等を要望し **賛成**

齊藤 博 議員

一般会計予算および介護保険特別会計予算に次の点を要望し賛成する。福祉タクシীর利用できる範囲を「体位保持に支えが必要な」「要支援者」にも広げるべき。また、「家庭介護慰労金支給制度」の創設は、私が提言してきた制度でもあり、評価するが「介護サービスを受けている人を対象外」にすべきではない。介護度4および5の方の介護は、施設での介護サービスと組み合わせる等をしなければできない。介護する家族の負担を軽減するのが目的であり、

逆である。「非課税世帯に限る」という条件も再考すべき、70歳以上で、年金収入192万円以下の方だけが対象では狭すぎる。

将来に希望が持て **賛成**

平澤 昭敏 議員

子育て支援施設など各種施策や事業を着実に進めることで、将来に希望が持てる持続可能なまちづくりを進めていることから賛成する。

暮らし福祉教育向上を優先にすべきであり **反対**

地福 美枝子 議員

一般会計予算は、土地の購入を先にしてから活用を考えることが多い。その一例がアウトレット付近に作る地域情報発信拠点整備事業である。ランニングコストが今後かかる割に成功するとは思えない。町民への暮らしや福祉・教育に関しては福祉タクシীর紙おむつなどの高い利用条件。地元要求があるのになかなか進んでいない排水工事。雨漏りする中学校体育館の屋根改修は急を要する。しかし、20億円を要する道路は計画を進めており、納得できない。税金は町民の暮らしのために。

◆ 議案第15号 平成30年度水道事業会計予算額 ◆

	収益的収入	収益的支出	資本的収入	資本的支出	議決結果
予算額	5億6820万3千円	4億266万9千円	2億5560万8千円	10億1009万2千円	原案可決 (賛成15人 反対0人)

◆ 議案第16号 平成30年度下水道事業会計予算額 ◆

	収益的収入	収益的支出	資本的収入	資本的支出	議決結果
予算額	3億8064万9千円	4億2974万6千円	1億7201万7千円	2億6847万9千円	原案可決 (賛成15人 反対0人)

国保広域化で持続可能な制度に

不足する財源を確保するため課税限度額を引き上げ



市町村が国民健康保険の保険者でしたが都道府県も加わります

平成30年3月議会で上程された議案等は次のとおりです。

議案

【議案第1号】

子育て支援センター設置
管理に関する条例を制定

岩橋保育園の隣接地に建設を進めている子育て支援施設の開所に向けて、酒々井町子育て支援センター設置及び管理に関する条例を制定しようとするもの。

※賛成多数で可決

【議案第2号】

景観基本条例の全部を改正

景観行政を総合的に推進するにあたり、現にある良好な景観の保全・育成と新たな景観の創出に関する基本理念や、良好な

景観の創造に関する施策の基本となる事項を定めることにより町民一人ひとりの参加のもとで、酒々井らしい魅力あるまちづくりを推進し、もって豊かな地域社会の創造と文化の向上を図るため、本条例の全部を改正しようとするもの。

※全員賛成で可決

【議案第3号】

国民健康保険事業の広域化
に伴い条例の表現を整理

都道府県が市町村と共に国民健康保険事業の運営を担う国民健康保険事業の広域化を内容とした、持続可能な医療保障制度を構築するための国民健康保険法等の一部を改正する法律の施行に伴い、酒々井町国民健康保険条例の条文の表現等を整理するもの。

※賛成多数で可決

【議案第4号】

国民健康保険事業の広域化に伴い課税限度額を引き上げを行うもの

地方税法および航空機燃料譲与税法の一部を改正する法律が成立し、国民健康保険における財政責任主体が都道府県になることに伴い、酒々井町国民健康保険条例について、県に納付する国民健康保険事業納付金として支払いが発生することから、所要の一部改正を行うもの。

また、この県広域化に伴い財源が不足し、更に課税の公平性を確保するため、課税限度額を引き上げを行うもの。

※賛成多数で可決

【議案第5号】

介護保険料率の適用期間
を改正

平成30年度から3か年を計画期間とする「第7期介護保険事業計画」の開始にあたり、町介護保険条例における介護保険料率の適用期間を改正するもの。

※全員賛成で可決

【議案第6号】

国民健康保険法等の改正に伴い後期高齢者医療に関する条例を改正

持続可能な医療保障制度を構築するための国民健康保険法等の一部を改正する法律の施行に伴い、高齢者の医療の確保に関する法律の規定により、住所地特例の見直しに係る事務の取り扱いが新設されることとなったため、これに準じて酒々井町後期高齢者医療に関する条例の一部を改正するもの。
※全員賛成で可決

【議案第7号】

一般会計を減額補正

今回の補正は歳入では、各種交付金や国・県支出金および町債等の調整を行い、歳出では、将来の財政需要に備え、減債基金、児童生徒国際交流振興基金、地域福祉基金への積立を増額し、その他、各種事務事業の整理等による決算見込みから減額等、調整を行うもの。
また、年度内に終了できない見込みの事業について、繰越明

許費を設定し、事業の確定により継続費の設定、変更を行い、1億5889万2千円を減額するもの。
※全員賛成で可決

<一般会計補正予算額>

補正前	67億4760万1千円
補正額	△1億5889万2千円
合計	65億8870万9千円

【議案第8号】

国民健康保険特別会計を減額補正

今回の補正は、歳出では、高額医療費共同事業医療費拠出金、保険財政共同安定化事業拠出金および療養諸費を決算見込みにより減額するもの。また、歳入では、額の確定に伴い、療養給付費等交付金、保険基盤安定繰入金およびその他各種交付金を減額するもので、9033万9千円を減額するもの。
※全員賛成で可決

<国民健康保険特別会計補正予算額>

補正前	30億5817万1千円
補正額	△9033万9千円
合計	29億6783万2千円

【議案第9号】
介護保険特別会計を減額補正

今回の補正は、歳出では、総務費、保険給付費および地域支援事業費を決算見込みにより減額し、歳入では、額の確定に伴い、支払基金交付金、介護給付

<介護保険特別会計補正予算額>

補正前	12億4481万3千円
補正額	△1702万9千円
合計	12億2778万4千円

費準備基金繰入金、国および県支出金等を減額するもので1702万9千円を減額するもの。
※全員賛成で可決

【議案第10号】
後期高齢者医療特別会計を増額補正

今回の補正は、歳出では、後期高齢者医療広域連合納付金を増額し、歳入では、保険料を増額。また、一般会計繰入金を減額し、1476万1千円を増額するもの。
※賛成多数で可決

<後期高齢者医療特別会計補正予算額>

補正前	2億2645万4千円
補正額	1476万1千円
合計	2億4121万5千円

※議案第11号から16号は2ページから4ページをご覧ください。なお、各議案とも可決です。

【議案第17号】
子育て支援施設の工事費の変更および工期の変更

酒々井町子ども・子育て支援施設の工事請負契約について、工事内容の一部に変更が生じたことから、平成30年2月23日付けで、株式会社島田建設と現行の契約金額1億237万3200円を1億288万5120円に変更すること、および工期を平成30年4月23日に変更する仮契約を締結したことにより、議会の議決を求めるもの。
※賛成多数で可決



子育て支援施設の新設で子育て環境が充実

【議案第18号】
木村教育長の再任について
議会の同意を求めるもの

現教育長である木村俊幸氏が平成30年3月31日で任期満了となることから、再任したいので、議会の同意を求めるもの。
※全員賛成で同意



木村俊幸 教育長

【議案第19号】
青少年交流の家の引き渡しと違約金を求め訴えを提起するもの

中央台公共用地内に青少年交流の家を建設するため株式会社ヤマロクと工事請負契約を締結したが、工期中の不誠実な態度および工期内に完成しなかったことにより、契約を解除し、出来高精算による建物の引渡しを求めて、双方が代理人弁護士を

たて交渉してきたが、双方の主張が対立し、話し合いによる解決が困難であると判断したことから、訴訟による解決を図るため、議会の議決を求めるもの。

なお、議会より司法による解決を求め、早期解決に関する意見書が町に提出されている。
※賛成多数で可決

【議案第20号】追加議案
一般会計を増額補正

国の補正予算で追加された「生産性革命に資する地方創生拠点整備交付金」の交付内示を受けたことに伴い、中小企業・小規模事業者へ新たな特産品開発や販路確立の相談支援等を行う町情報発信拠点施設整備の経

<一般会計補正予算額>

補正前	65億8870万9千円
補正額	9614万7千円
合計	66億8485万6千円

費を補正するもの。なお、年度内に終了できない見込から繰越明許の設定をするもので、9614万7千円を増額するもの。
※賛成多数で可決

【議案第21号】追加議案
副町長に千葉県職員のため
河南氏を選任するため
議会の同意を求めるもの

副町長に千葉県職員として健康福祉部、総合企画部、商工労働部、水道局、総務部など幅広い分野を経験した、河南康広氏を選任するため、議会の同意を求めるもの。
※全員賛成で同意



河南康広 副町長

発議案

平成30年3月議会で議員から提案された発議案等は次のとおりです。

【発議案第1号】
議員の期末手当を特別職に準じて引き上げ

平成29年12月定例議会において、特別職の期末手当の引き上げに関する条例改正が行われたので、議員の期末手当を特別職の期末手当の引き上げに準じて、6月分を「1・65月」から「1・7月」に、12月分を「1・8月」から「1・85月」にそれぞれ引き上げるもの。
※賛成多数で可決

【発議案第2号】
宗吾参道駅のエレベーター
早期設置に向けて町に意見書を出すもの

京成宗吾参道駅へのエレベーター設置の早期実現に向け、次の点について町に要望するもの。

①高齢者や障害者、車イスやベ

ビーカーを利用する方が安全に利用できるよう、京成宗吾参道駅の利便性改善に向けてエレベーターの設置を要望する。

②京成宗吾参道駅を中心とした周辺整備の充実を図ってほしい。

※全員賛成で可決

【請願の取り下げ】
B・Net子どもセンター
移転に関する請願書の
取り下げ

12月定例会における教育民生常任委員会で継続審査となったB・Net子どもセンター移転に関する請願書について、請願者から取り下げ願いが提出されたもの。
※全員賛成で可決

【議員派遣】
ドイツに議会運営委員長
を派遣するもの

ドイツのドルフエン市と今後継続的に相互交流を行うため、町長と議会の代表者がドルフエン市を表敬訪問するもの。

※賛成多数で可決

議 案 へ の 賛 成 討 論

【議案第17号】

子育て支援施設は重要な施設であり賛成

江澤 眞一 議員

子育て支援施設は、町にとって重要なものであり、様々な事業の出発点である。この事業を止めてはならない。工事費の増額分も認めるべき。しかし、工事請負業者に対しては、工事完了後に何らかの対応を考えるべきである。

【議案第17号】

利用者に配慮し6月1日に開所するべきで賛成

高崎 長雄 議員

この議案を否決すると、子育て支援施設の6月1日オープンが大きくずれ込むことになり、あいあいルーム利用者のことを考えると、本議案を否決することはできない。

【議案第19号】

責任の所在を明確にするべきであり賛成

御園生 浩士 議員

青少年交流の家の問題について、町は2年の長きにわたり、相手もあることではあるが前向きな対処をしてこなかったが、いよいよ平成30年度予算に訴訟関係費用を計上した。町の主張を堂々とし、白紙の下にさらしてほしい。違約金の請求、町積算の出来高払いをし、責任の所在をはっきりさせてほしい。決して根拠ある積算以外の支払いはず、安易な妥協はせず、訴訟費用の請求もお願いし賛成する。

【議案第20号】

町の発展のため必要な施設であり賛成

越川 廣司 議員

本事業については、アウトレット内のコミュニケーションセンターと協力しあい、少しでもアウトレットまた、町内などに集客を図ろうとするための情報発信を行う施設で、国、県が認めた事業である。

町としては、本事業を行うことにより、さらに町の発展につながるものであり、なくてはならない施設である。財源内訳をみても職員の努力により、総事業費約9600万円に対して一般財源は約4%である。今回この事業を逃すと以前あった調節池整備事業が反対の反対により、現在も実施できないような同じ結果になりかねない。今後、補助事業を進めていくにあたり、国、県に対して町の信用問題になることが危惧され賛成。

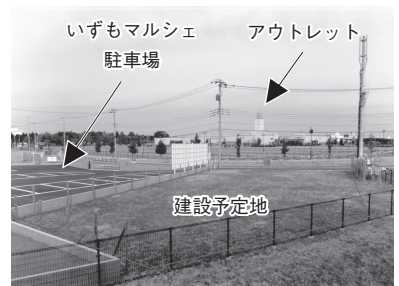
【議案第20号】

商工業の低迷打開のため必要な施設であり賛成

小阜 稲 賢一 議員

低迷する町の商工業を打開するには、新しいものが必要と考えていた。アウトレット内にあるコミュニケーションセンターと連携しながら、町独自の自由な発想で様々なことに挑戦できる拠点整備は、非常に大事と考える。アウトレットに来場する方々を少しでも町内に呼び込む策を研究することが必要である。また、町の財政的な負担も少なく済

むことから賛成する。



飯積地先で町情報発信拠点施設の整備が進められています

議 案 へ の 反 対 討 論

【議案第1号】

管理者の定めがなく条例の不備であり反対

濱口 信昭 議員

従前より主張していたとおり、子育て支援施設の設置にはおおいに賛成するところであり、その管理等に関する条例を定めることについては賛成である。しかし、今回提示されている条例案については、施設の管理責任者（館長等）の定めがなく、管理体制が不明確であり、また、開館日に関しても定められている等、条

例として不備があると思われる。反対する。

【議案第1号】

責任ある運営をするため再検討が必要であり反対

御園生 浩士 議員

子育て支援センターは、幾度となく執行部の事業説明や進捗状況の報告もあり、町民の要望もあり、議会としても協力体制で臨んできた。土地の取得から建物も完成間近となり、今回「設置条例」の提案となった。町他条例と比較したところ、専任の責任者を置くようになっていなかった。教育民生常任委員会で集中的に議論されたのもこの点であった。子育て支援センターに、なぜ責任者を置くことを明記しないのか問われても、明確な答弁がなかった。延べで職員11人を配置し、小さな子を持つ親と、サポートしてくれる善意の方々が多く集まるであろうこの施設に、なぜ置かないのか不思議である。責任ある運営をするためにも再検討をお願いして反対する。

【議案第3号】

町民の負担増となる
国保の広域化に反対

地福 美枝子 議員

医療費の抑制と表裏一体で、医療給付の増が保険税引き上げに連動する仕組みが広域化であり、町民も町行政も負担が大きい。国民健康保険は国の社会保障の問題であり地方自治体としても強く要求すべき。

【議案第17号】

遅延に対する措置もなく
増額を認めるのは反対

齊藤 博 議員

子育て支援センターの工事請負契約の変更については、工事期間が1か月間遅れ、加えて、請負金額も51万1920円の増額である。建設が遅れば、ペナルティーが科されるのが通常であるが、遅延に対する措置もなく、増額だけは認めるといふ町の判断には賛成できない。工事打合せ簿に次の記事があったので、付け加える。「今回の入札でわが社は無理な安い金額で提示して落札した。現状では、入札辞退業者

の価格が適正であり、下げた価格で完成するには下請けの競争しかありません」とあった。「請負金額を低く抑えれば良い」というだけでなく、適正な予定価格の設定が求められている。

【議案第17号】

工期延長の合理的な理由
がなく反対

御園生 浩士 議員

子育て支援センターの金額の増額と工期延長について、金額の変更は発注者、請負者、工事を管理するコンサルタン

ト3者の合意によるもので打合せ簿・契約書のとおり履行されているもので反対するものではない。ただし、工期延長については、担当課から「雨が多かった」「職人が集まらなかった」との理由説明があったが、延長に値しない説明であった。また、打合せ簿については、請負者およびコンサルタント会社の申し出の記録もなく、契約書の条文にある書面での通知も議会には明示されなかった。このようなことから、町の判断での工期延長との理解のもと合理的な理由がないものとして反対。

理由がないものとして反対。

【議案第20号】

運営方法等を決めてから
進めるべきで反対

齊藤 博 議員

情報発信拠点施設を設置すること自体に反対ではないが、明確な運営方法や内容が定まっていないのに、補助金があるので、補正予算を提案している。このような事業の進め方では、いいものはないと考え反対する。

【議案第20号】

十分な調査と検討がされていないので反対

竹尾 忠雄 議員

平成29年度予算説明（3月）の説明では（仮称）観光物産館を作る用地購入費1953万8千円（面積539㎡）建物設計費636万9千円の予算を提案したが、今回の補正では、（仮称）情報発信拠点整備事業となり、建物は鉄骨造平屋建て床面積175㎡総事業費9614万7千円であった。事業主体を聞くと当面は町が行い、人件費等の年間運

営費を聞いても答えられなかった。同じような情報発信をアウトレット内で町が年間約900万円商工会に委託して実施している。国のお金だから、町のお金だからの問題ではない。同じ税金である。土地代金を含めると1億円以上の事業となり、実施するには十分な調査と検討が必要である。年間の運営費も職員数も答えられない事業は十分検討したとは思えない。限られた財源の中では優先順位がある。中学生の訴えに応じ、体育館の雨漏り改修工事が先ではないか。

の給与を減額し、職員に対しては「勧奨」を行い、議員も同様に一丸となって節減を実施し、町の財政の立て直しを図ってきた。事業をする時には費用対効果も考え、常に節減を町長は発信してきたが、本事業は「酒々井コミュニティプラザ改修」と施設のコンセプトについても重なっている。私はコミプラの施設の有効活用や機能強化を図ることおよびアウトレット内の町の情報発信基地を有機的に結びつけることにより、費用対効果は上がると考えている。町のPR、物品販売、中小企業等の所得の向上や雇用の創出など実施するのであれば、相應の職員配置が必要であり、町職員で責任ある40歳代を配置すれば年間一人で800万円程度の予算計上が必要である。その他に事業展開をするのであれば職員やパート従業員の費用が掛かる。町の主張である経費節減・費用対効果を考えるのであれば、まず詳細な事業計画および収支計画を作成してから提案するべきであり反対する。

【議案第20号】

事業計画・収支計画を作成し提案すべきで反対

御園生 浩士 議員

町情報発信拠点整備事業は、酒々井町、八街市、富里市の境に建設するものである。当町においてはコンパクトシティ化、町の施設や町民の利用する施設を中心市街地へ誘致集中させることを推進しており、今までの町の主張との整合性がなく反対する。また、町長は1期目より自身

各常任委員会での審査結果

※件名は一部省略しています。

◎…委員長
○…副委員長

件名		審査の結果		
		賛成	反対	結果
議案第4号	国民健康保険税条例の一部改正	3	1	可決
議案第7号	一般会計補正予算	4	0	可決
議案第11号	平成30年度一般会計予算	4	0	可決

件名		審査の結果		
		賛成	反対	結果
議案第1号	子育て支援センター設置および管理に関する条例の制定	4	1	可決
議案第3号	国民健康保険条例の一部改正	4	1	可決
議案第5号	介護保険条例の一部改正	5	0	可決
議案第6号	後期高齢者医療に関する条例の一部改正	5	0	可決
議案第7号	一般会計補正予算	5	0	可決
議案第8号	国民健康保険特別会計補正予算	5	0	可決
議案第9号	介護保険特別会計補正予算	5	0	可決
議案第10号	後期高齢者医療特別会計補正予算	5	0	可決
議案第11号	平成30年度一般会計予算	4	1	可決
議案第12号	平成30年度国民健康保険特別会計予算	4	1	可決
議案第13号	平成30年度介護保険特別会計予算	4	1	可決
議案第14号	平成30年度後期高齢者医療特別会計予算	5	0	可決
議案第17号	工事請負変更契約の締結	2	3	否決
議案第19号	訴えの提起	5	0	可決

件名		審査の結果		
		賛成	反対	結果
議案第2号	景観基本条例の制定	4	0	可決
議案第7号	一般会計補正予算	4	0	可決
議案第11号	平成30年度一般会計予算	3	1	可決
議案第15号	平成30年度水道事業会計予算	4	0	可決
議案第16号	平成30年度下水道事業会計予算	4	0	可決

本会議での 議決結果

議案と議決結果（町長提出のもの）

賛成・・○ 反対・・× 議長は採決に加わりません。

番号	件名	本会議の採決結果																
		採決結果	濱口	須藤	酒瀬川	那須	御園生	川島	齊藤	内海	佐藤(議長)	江澤	平澤	越川	竹尾	地福	小早稲	高崎
1	子育て支援センター設置および管理に関する条例の制定	可決 (賛13・否2)	×	○	○	○	×	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○
2	景観基本条例の制定	可決 (賛15・否0)	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○
3	国民健康保険条例の一部改正	可決 (賛13・否2)	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	×	×	○	○
4	国民健康保険税条例の一部改正	可決 (賛12・否3)	○	○	○	×	○	○	○	○	—	○	○	○	×	×	○	○
5	介護保険条例の一部改正	可決 (賛15・否0)	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○
6	後期高齢者医療に関する条例の一部改正	可決 (賛15・否0)	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○
7	一般会計補正予算	可決 (賛15・否0)	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○
8	国民健康保険特別会計補正予算	可決 (賛15・否0)	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○
9	介護保険特別会計補正予算	可決 (賛15・否0)	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○
10	後期高齢者医療特別会計補正予算	可決 (賛14・否1)	○	○	○	×	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○
11	平成30年度一般会計予算	可決 (賛12・否3)	○	○	○	×	○	○	○	○	—	○	○	○	×	×	○	○
12	平成30年度国民健康保険特別会計予算	可決 (賛12・否3)	○	○	○	×	○	○	○	○	—	○	○	○	×	×	○	○
13	平成30年度介護保険特別会計予算	可決 (賛13・否2)	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	×	×	○	○
14	平成30年度後期高齢者医療特別会計予算	可決 (賛13・否2)	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	×	×	○	○
15	平成30年度水道事業会計予算	可決 (賛15・否0)	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○
16	平成30年度下水道事業会計予算	可決 (賛15・否0)	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○
17	工事請負変更契約の締結	可決 (賛10・否5)	○	○	○	×	×	○	×	○	—	○	○	○	×	×	○	○
18	教育長の任命	同意 (賛15・否0)	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○
19	訴えの提起	可決 (賛14・否1)	○	○	○	×	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○
20	一般会計補正予算	可決 (賛10・否5)	○	○	○	×	×	○	×	○	—	○	○	○	×	×	○	○
21	副町長の選任	同意 (賛13・否0)	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	棄権	棄権	○	○
発議案1	議会議員の議員報酬および費用弁償等に関する条例の一部改正 提出者 高崎 長雄議員 他3名	可決 (賛12・否3)	○	○	○	×	○	○	○	○	—	○	○	○	×	×	○	○
発議案2	宗吾参道駅へのエレベーター設置に関する意見書の提出 提出者 酒瀬川健一議員 他3名	可決 (賛15・否0)	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○
—	請願の取り下げの件	可決 (賛14・否0)	○	○	○	○	○	○	○	○	—	除斥	○	○	○	○	○	○
—	議員派遣の件	可決 (賛14・否1)	○	○	○	○	×	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○

※件名は一部省略しています。



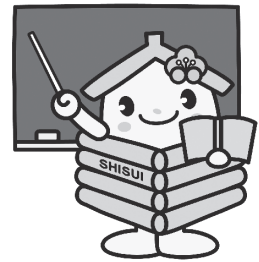
しよせき 除斥とは、議会における審議の公正を期するため、議題になった案件と一定の利害関係にある議員を、その審議に参加できないようにすることです。その審議が終了すれば再度入場できます。

ここが聞きたい

一般質問で町の考えを問う

一般質問は、町の執行機関に疑問点をただし見解を求めるものです。3月定例会の一般質問は、3月14日と15日の2日間に11名の議員が行財政全般にわたり、今後の対応策などについて質問を行いました。

「議会だより しすい」に掲載されている内容は紙面の都合上、要点のみとなっています。詳細については、町図書館（プリミエール酒々井内）で会議録をご覧ください。また、町のホームページからもご覧いただけます。3月定例会の会議録は、6月上旬以降、閲覧することができます。



酒々井町マスコットキャラクター
井戸っこ（しすいちゃん）

No.1 御園生 浩士 議員・・・・・・・・P 13

- ◆平成 30 年度予算
- ◆（仮称）酒々井町青少年交流の家
- ◆町のガバナンスとコンプライアンス

No.2 酒瀬川 健一 議員・・・・・・・・P 13

- ◆高齢者を守る防犯対策
- ◆酒々井町景観計画
- ◆上下水道管の老朽化対策と暮らしへの影響

No.3 平澤 昭敏 議員・・・・・・・・P 14

- ◆ヘルプカードケース、ヘルプマーク
- ◆公立学校の避難所機能
- ◆貧困の連鎖
- ◆街路樹の管理

No.4 那須 光男 議員・・・・・・・・P 14

- ◆インフルエンザ
- ◆ふれ愛タクシー
- ◆福祉タクシー
- ◆J R 酒々井駅西口駐輪場
- ◆ふるさと納税制度

No.5 濱口 信昭 議員・・・・・・・・P 15

- ◆子育て支援施設
- ◆降積雪に関連して
- ◆町職員の勤務時間その他勤務条件の状況
- ◆給食食材に関連して

No.6 内海 和雄 議員・・・・・・・・P 15

- ◆婚活（結婚活動）
- ◆下岩橋地先の市街化区域
- ◆県道富里酒々井線
- ◆平成 30 年度の予算

No.7 江澤 眞一 議員・・・・・・・・P 16

- ◆コミュニティプラザ改修計画
- ◆酒々井町個別施設計画

No.8 齊藤 博 議員・・・・・・・・P 16

- ◆本庁舎耐震工事
- ◆福祉施策
- ◆南部地区関連税収の見直し
- ◆人口減少対策
- ◆町営施設の活用

No.9 須藤 伸次 議員・・・・・・・・P 17

- ◆県道および町道拡幅工事の早期実現
- ◆ふれ愛タクシーの運行計画の見直し
- ◆駅周辺等の開発の進捗状況

No.10 竹尾 忠雄 議員・・・・・・・・P 17

- ◆教育環境の整備
- ◆ふれ愛タクシー
- ◆道路問題
- ◆馬橋地区の盛土崩落
- ◆中央台 4 丁目の都市計画道路用地

No.11 地福 美枝子 議員・・・・・・・・P 18

- ◆教職員の働き方
- ◆学校教育
- ◆国民健康保険の広域化
- ◆就学援助

問

千葉県最下位の
当町の今後の対策は

答

差し押さえを強化するとともに
口座振替加入を促進していく



御園生 浩士 議員

問 国保収納率を含め総合的に評価した順位が千葉県で最下位の当町は、総合評価の向上にどのように対処するか。評価により補助金額の大小があるが、県内でどの位置にあり1人当たりの上位との差額と合計金額を伺う。

税務住民課長 国民健康保険税の現年課税分収納率は、平成28年度決算で県内54市町村中26位である。また、収納率の向上については、財産調査を徹底し、支払い能力があるのに納付のない滞納者への差押を強化するとともに、納め忘れを未然に防ぐことを目的として、平成30年度に口座振替加入促進事業を予定している。補助金額は、保険者努力支援制度を前提とするが、制度全体で当町と上位の市町との1人当たりの差は405円で、1月末現在の被保険者数で試算した合計金額の差は219万7935円である。なお、制度の中で収納率による1人当たりの差は57・75円、合計金額の差は31万3409円なので、その差を縮められるよう努力する。

問 『青少年交流の家』の工事請負契約書は、本来の請負者は、(株)ヤマロク、代表取締役塚本三幸、千葉市花見川区検見川町3・328・15・107ではないか。なぜ印旛郡酒々井町馬橋670・1で契約したのか。契約は無効ではないか伺う。

生涯学習課長 契約書中の受注者の住所は、入札参加登録申請書の支店の委任事項に契約の締結は含まれていなかったため、千葉市の住所で契約すべきところ、誤って酒々井町の住所で契約したものである。また、この契約が成立しないのであれば、このことだが、受注者の住所も含め、発注者、受注者双方了解のうえで、押印し、契約書を取り交わしているもので、契約は成立しているものと考えている。



訴訟による解決を図ることになった交流の家

問

町民生活の安全確保を目指して
振り込め詐欺への秘密兵器導入を

答

迷惑電話防止機能付き電話機の
設置促進の指導を図る



酒瀬川 健一 議員

問 電話による振り込め詐欺等の特殊詐欺に係る振り込め詐欺件数と被害額、および内容について、また電話口で警告音と自動通話録音で抑止効果が期待できる装置導入の検討も必要と思われるが。

総務課長 振り込め詐欺は、当町では2件発生し、被害額は発生しなかったが、2件の発生のいずれもキャッシュカードをだましとられた事件であった。当町の振り込め詐欺の犯罪は平成25年から平成28年まで数件発生しており、被害総額は約100万円から約1800万円の範囲の被害額である。今後も各事案に沿った防犯活動を推進するとともに、電話で詐欺の防止対策として、迷惑電話防止機能付電話機の設置が有効であるという検証結果もあることから、設置促進の指導を図っていきたいと考えている。

問 景観地区の建物等の維持管理は

景観地区の対象となる土地や建物の維持・管理はどこが、それに要する費用は誰の負担になるのか。また旧酒々井宿整備計画の進捗状況と県道の

歩道整備事業との業務遂行上、問題はないのか。

町長 対象となる土地や建物の維持管理については、基本的に所有者が行うことになる、維持管理に関する負担の軽減について、他市町村の事例などを参考に検討していく。

生涯学習課長 町は旧酒々井宿の町並み保存整備を行うため、交流支援拠点の整備に関する基本的な進め方を作成している。平成30年度はこの方針に基づき重点地区のモデル的整備を実施する計画であり、印旛沼眺望名勝地の「下がり松」や「苜吉五郎邸」を対象に修景整備および公開イベントを行う予定である。また、まちの顔づくり推進事業では、県道の歩道整備や横町地区で進める「歴史の道整備事業」との調整が必要となっており、引き続き県と協議を行いながら、訪問者の安全確保をふまえた具体的な整備範囲、内容等について検討を行うとともに、地権者や所有者に対して丁寧な説明に努めていきたいと考えている。

問

ヘルプカードのケースとヘルプマークの導入を

答

県や近隣市町の動向を注視し検討していく



平澤 昭敏議員

公立学校の避難所の機能は

問 ヘルプカードを入れるケースと内部障害、難病、妊娠初期など援助や配慮が必要な方々が周囲に知らせることが出来るヘルプマークの導入について伺う。

問 小学校、中学校の防災機能、避難所機能について、現状と今後の対応について伺う。

健康福祉課長 ヘルプカードを入れるケースについては、携帯方法が障害の種類や状況等によって異なることから、財布や定期入れ、市販のケースに入れてカバンの外に取り付けるなど、利用者自身に適した方法で携帯していただいている。また、ヘルプマークの導入にあたっては、対象者の範囲や配布方法などに検討を要すること、さらに、外出先での緊急時に使用することが多いこと等が考えられることから、広域的な導入が望ましいものと考え、今後は、県や近隣市町の動向を注視しつつ、検討していきたいと考えている。



健康福祉課の窓口で受け取れます

総務課長 町内の公立学校は災害時の指定避難所として指定しており、各校敷地内に設置してある防災備蓄倉庫に非常食、毛布、マット、担架等の災害対応用備蓄品を保管している。災害対応機能としては、上水道が断水した場合には、不足する水を確保するため、各学校敷地内に発電機で対応できる防災井戸を設置している。また、校内の下水道配管が破損しトイレが使用できない場合の対応として、学校に防災用のベンチ型マンホールトイレを3基ずつ設置している。さらに停電時の夜間照明として発電機付投光器を各学校に1機配置し、災害時に備えている。なお、食料や生活物資等の供給については、災害発生当初は町保有の災害備蓄品を供給し、不足が見込まれる場合は、応急生活物資供給の協定を結んでいる事業者や千葉県へ不足物資等の提供を要請し、災害物資の供給を行う。

問

児童・生徒に対しインフルエンザ予防接種費用の補助を

答

今後の検討課題と考えている



那須 光男議員

問 ① インフルエンザによる2月末までの小中学校の学級閉鎖クラス数・日数および感染者数を伺う。
② 同様に町立保育園の実態について
③ 生徒・児童のインフルエンザ予防接種費用の補助について伺う。

問 健康福祉課長は児童・生徒に対して、インフルエンザ予防接種費用の補助については、近隣市町ではどこも実施していないことを理由にして酒々井町も補助していないと回答した。インフルエンザによる被害は、単に医療費の増大だけではない。ベビシッター不足および高い利用料金などで、インフルエンザの児童・生徒を預けることができず、共働き世帯は大変なことになっている。予防接種費用の補助をして感染者を減らし、感染して病院に支払う子ども医療費の自己負担分を考えれば、コスト的にも多額になるとは思えない。近隣市町よりひと足先に児童・生徒に対して補助するよう求める。

健康福祉課長 児童生徒への補助については、近隣市町でインフルエンザ予防接種の補助を行っているところは少ないが、流行前のインフルエンザワクチンの接種は、感染後に発症する可能性を低減させる効果と、発症した場合の

健康福祉課長 児童生徒に対するインフルエンザワクチンの補助については、先ほど答弁したとおり、今後の検討課題と考えている。

問 現在建設中の子育て支援施設の位置付けは

答 町の子育て支援事業の中心になる施設と位置付けている



濱口 信昭 議員

問 現在、上岩橋地区に建設中の子育て支援施設について、その位置付けについての町の考えを伺う。また、その考えに基づいて、運営体制等について確に準備がなされているか伺う。

町長 子育て支援センターは、酒々井町まち・ひと・しごと創生総合戦略の中で岩橋保育園を中心とした子育て支援拠点を整備するという構想のもと、建設を進めたもので町の子育て支援事業の中心になる施設と位置付けている。運営体制は、場所の変更だけでなく、開所日数も週5日から週6日を予定し、それに合わせて職員の配置をしている。



6月1日オープン予定の子育て支援センター

問 1月の降雪・積雪時に小中学生の通学に関してどのような対応を取ったのか。決定に至る過程を含めて伺う。

学校教育課長 今回の降雪では、前日に町内小・中学校の校長会と教育委員会が協議し、翌日の10時登校を決定した。なお、自然災害のおそれがある場合、気象情報などの収集に努め、児童生徒の安全を第一に考え、始業時刻の変更等を各小中学校の校長と教育委員会が協議して決定することになっている。

サービス残業は発生していないか

問 酒々井町役場におけるサービス残業の有無と年次有給休暇の取得状況についての町としての評価を伺う。

副町長 時間外勤務は、各所属長が必要な勤務か、時間数が適正かを精査し、時間外勤務を命じ、本人の申請に基づき手当を適正に支給している。

総務課長 平成28年中の教育委員会等の職員を除いた職員での平均取得日数は8・6日で県内市町村の平均11・1日と比較し2・5日少なく、町村平均は8・4日で0・2日当町が上回っている。今後は、計画的な年次有給休暇の取得が可能となるよう、業務の効率化、適正な職員配置に努めていく。

問 行政が実施するという安心感を活用し婚活を町主体で行うべき

答 町内の各種団体等と協力して交流移住・定住の促進に努める



内海 和雄 議員

問 婚活を町主体で実施し、結婚を希望している男女の仲介役を務め未来に希望を与える活動を実施すべきと思うが、町の考えを伺う。

企画財政課長 男女の出会いの場となる「婚活」は、当町では町商工会青年部が中心となり、町内の店舗および町と協力し、男女の出会いの場の創出と町の魅力や特産品等をPRする「婚活イベント」を実施したところである。町としては、全国的に人口減少や少子高齢化が進展する中、人口減少を抑制し、安定した町政運営を維持していくためには、移住・定住人口を確保していくことが重要と考えており、今後も、町内の各種団体等と協力し、交流・移住・定住の促進に努めていきたいと考えている。

宗吾参道駅周辺の都市計画変更を

問 下岩橋地区の市街化区域の未利用地はどのくらいあるのか伺う。また、市街化区域の活用と宗吾参道駅周辺を一体とした都市計画の見直しをすべきと思うが、町の考えを伺う。

まちづくり課長 下岩橋地区の都市的未利用地は、平成28年度に実施した都市計画基礎調査によると、約9ヘクタールと報告されている。また、都市計画の見直しは、京成宗吾参道駅周辺区域は、地域拠点エリアとして駅周辺という高い交通利便性を活かして周辺住民のための商業・業務機能の誘導を促進することとしており、事業者から相談等があれば、地域の実情に応じた都市計画の見直しなどを柔軟に検討していきたいと考えている。

県道富里酒々井線の早期整備を

問 県道富里酒々井線の整備促進について、県に強く要望すべきと考えるが、町の考えを伺う。また、古沢橋の歩道設置計画について伺う。

まちづくり課長 町としては様々な機会を捉え、早期完成に向け県に協力していくとともに要望していく。古沢橋の歩道は、現在、県が酒々井パーキングエリア付近の区間を優先して整備しているため、古沢橋の歩道整備時期等は今後検討していくと伺っている。

問 コミュニティプラザの改修計画を具体的に伺う

答 平成30年度に実施設計を行う浴室は1階を予定している



江澤 眞一議員

問 コミュニティプラザ改修計画について、次の点を伺う。

- ① 平成30年度の計画について伺う。
- ② 事業費と工期の予定について伺う。

③ 浴室について、以前から浴室が狭いとか、1階にとの要望があるが町の考えを伺う。

④ 清掃組合と事業費等の話し合いをするのか、町の考えを伺う。

⑤ 体育館の増築について以前の回答で検討することであったが対応を伺う。

町長 ① 平成30年度は、改修の実施設計を予定している。

② 事業費は、実施設計で事業費が積算される。工期は、リサイクル文化センターの延命化工事により稼働期間の延長を地元協議会と清掃組合間で覚書が締結されたことから、期間延長と併せて予定している。

③ 浴室は1階を予定している。

④ コミュニティプラザは清掃組合の地元対策として建設していることから、地元協議会と清掃組合で締結して

いる覚書や協定書に基づき、改修費用について、応分の負担を求めていく。

⑤ 体育館(多目的ホール)は、現行のまま使用することを考えている。

個別施設計画に基づく事業は

問 個別施設計画は、第5次総合計画後期基本計画に合わせて行う事業であるが、平成30年度に行う個別の事業について伺う。また、今後の計画についても伺う。

副町長 平成30年度に予定している事業は、JR酒々井駅自転車駐輪場整備事業、中央公民館非常用発電装置更新事業およびコミュニティプラザ改修設計事業で、その他として防災資機材等備蓄施設整備事業および(仮称)酒々井町情報発信拠点整備事業を実施したいと考えている。また、今後の計画については、本佐倉城跡の保存・活用のための入口広場整備事業として、管理詰所、トイレ、倉庫などの整備や身体の不自由な方が使用しづらい状況となっている保健センターのトイレ改修事業、そして、役場中央庁舎大規模改修事業等を実施したいと考えている。

問 本庁舎耐震工事の内容は事業費、財源はどうするのか

答 事業費は工事内容を検討しているので示せる段階にない



齊藤 博議員

問 本庁舎耐震工事は、平成23年度の耐震診断の結果を受けて6年が経過したが、この間、当初計画になかった分庁舎の建設があり、耐震度についても設計のやり直し等、経費が膨らんでいる。防災本部を分庁舎に変えたため、

工事費が低くなるとの説明で設計委託をしたが、現在考えている工事内容はどうなのものか伺う。また、事業費、財源はどうか伺う。

企画財政課長 耐震補強工事の主な内容は耐震補強工事と併せてアスベスト対策とエレベーターの設置をしようとするものだが、庁舎改修後の年数が経過してきたことから、屋上防水工事や外壁補修工事等の実施も考えている。事業費は、工事内容等を検討しているところであり、示せる段階ではない。

介護サービスの需要の見込みは

問 ① 次期介護保険事業計画における介護サービスの伸びはどのくらいか。車いす等の大型化やスピードアップ等が進む中、バリアフリーを検討するためには、健常者でなく障がい者や高齢者等に試乗していただき検証すべ

きでないかと考えるがどうか。

② 現在、介護の実態を町は把握できていないと思う。特に、在宅での介護における悩みや相談等はケアマネージャーや包括支援センター等が担っているが介護施策を立案するのは町であることから、ケースワーカーを置いて実態把握に努めるべきである。

健康福祉課長 ① 介護サービス需要の推計は、町の推計結果として、要介護認定者数、介護給付費は平成30年度

820人、10億9465万2千円、平成31年度881人、11億8722万1千円、平成32年度974人、13億2773万7千円と見込まれる。バリアフリーの現状調査は、社会福祉協議会が取り組んでいる福祉マップの活用を含め、検証について検討していく。

② 地域包括支援センターが高齢者の相談を受けているが、相談内容や件数等を月ごとに、苦情や要望等の重要案件はその都度報告を受けている。また、新たに生活支援コーディネーターを配置し、ニーズ等の把握に努めていく。

問

県道宗吾酒々井線、町道横町下台線の渋滞対策は

答

事業者により来場する車を分散させる工夫について協議していく



須藤 伸次議員

問 ① アウトレットの第3期増設は、税込・雇用面で歓迎するが、一方で県道、町道の渋滞が懸念される。両路線の拡幅工事の完成時期と自家用車の出入り等の深刻な状況に対して、町の対策を伺う。
② さわやか中央通りの無電柱化と中央1丁目から消防署に直結する計画の進捗状況と完成年度を伺う。また、当該路線では冬季になるとイチヨウの落葉が道路等に付着し、すべりやすく特に児童・高齢者の住民に非常に危険であることから、町の対応を伺う。

問 させる工夫など、渋滞対策について事業者と協議していく。
② 無電柱化は、交付金の交付額にもよるが、平成30年度に詳細設計、平成31年度から工事に着手する予定である。消防署への道路は、現在、関係地権者との交渉を進めており、平成32年度の完成を目標としている。イチヨウの落葉は、基本的に沿線住民のご協力により清掃していただいている。
ふれ愛タクシースターの運行方法の見直しを
問 高齢者の体調不良や免許証の返上により、利便性の向上と佐倉方面、成田方面に運行範囲の拡大について伺う。また、循環タウンバスの運行を切に願うが町の考えを伺う。
健康福祉課長 現行のふれ愛タクシースターのシステムでは、「利用者の要望に対応できない」「多数回利用者が偏在している」「3台運行時の乗車率が低い」「予約したのを忘れる方が増えてきた」など、多くの課題が明らかになったので、ふれ愛タクシーを含め、移動手段の充実を総合的に検討している。

問

生徒の訴え「雨漏りで生徒がケガをする前に改修工事」の実現を

答

体育館屋根の改修は財源の見通しがつき次第、実施したい



竹尾 忠雄議員

問 学校は安全でなければならぬところであるのに「危険なグラウンド、体育館」と生徒から訴えられている。安全確保は政治の責任である。3月の中学校卒業式では体育館の雨漏りと漏電が発生し、卒業式の開式が遅れたが、無事終了した。そこで次の点を伺う。
① 中学校体育館の雨漏りについて、屋根改修事業完成までの目標計画を作成すべきと思うが、考えを伺う。
② 1日も早く安全なグラウンドで生徒が運動、部活ができるように事業目標計画を作成して進めるべきではないか。用地取得率は32%と伺っているが、用地取得完了までの見込みを伺う。
町長 ① 体育館屋根の改修は、財源の見通しがつき次第、実施したい。
② グラウンドについては、地権者の方々のご協力を前提とし、多額の経費を要する事業であるので、財源の確保に努めるなど、早期完成を目指し、順次整備を進める考えである。

ふれ愛タクシーは4台で運行を
問 ふれ愛タクシーは平成29年4月から1台減車(3台運行)したため「待ち時間が長く」なったことから苦情が増え、利用者が激減した。平成28年8月の利用者1694人に対し、平成29年8月は1456人で238人減少している。以前利用していた方からは「10日前予約では利用できない」との声も、交通弱者のためにふれ愛タクシーを以前のように4台で運行すべきと思うが考えを伺う。
健康福祉課長 現行のふれ愛タクシースターでは、多くの課題が明らかになったので、ふれ愛タクシーを含め、移動手段の充実を総合的に検討している。
町長 バスの運行費の増大に伴い1台減車せざるを得なくなったので、実態調査を行った結果、特定の方の利用が80%であった。今後の免許返納者の増加や利用者の実態を考え、バスが効率的に回れない場所の方にもサービスが行き届く方式や買い物についても町内を周回するものを考え、町の将来を見据えて、さらに利便性が良くなるように、実態に即した事業を総合的に検討した。

問

教職員の過密労働を減らすための
取り組みは

答

勤務改善分科会を新たに設置し
改善策を協議している



地福 美枝子議員

問 ① 教職員の勤務状況調査は、どのような設問で何が分かったのか。
② 過密労働を解決するための対策会議はあるのか
③ タイムカードはいつ導入するのか。
学校教育課長 ① 町で独自に実施した勤務状況調査は、7月と12月に実施した。勤務時間や時間外勤務などの実態や勤務改善に係る意識などを調査し、小中学校の勤務状況を把握した。なお、各小中学校の勤務状況は全国の調査とほぼ同じ結果であった。
② 保育園、小学校、中学校で組織する保小中連携指導協議会で、新たに管理職で構成する勤務改善分科会を設置し、改善策を協議している。
③ タイムカードは、平成30年度から導入予定で、教職員自身が勤務時間の適正管理を行えるように期待している。

教科書採択のあり方について

問 ① 教育出版が採択された理由はないか。
② 教科書採択会議は公開にすべきではないか。
③ 小学校の英語指導の実施に伴う教職員の指導のコマ増加対策は。
④ 道徳の指導書に疑問。県では教科書使用を強制しないと云っているが。
学校教育課長 ① 印旛地区の市町では、印旛地区採択協議会が組織され、ここで選定された教科用図書を各市町が採択することになっている。
② 会議では静謐な採択環境の確保が重要であり、非公開は適切である。
③ 学習指導から評価までを担当する外国語専科教員を各小学校に1人ずつ配置することとしている。
④ 教科書は、学校教育法の定めにより、原則使用しなければならぬ。
国保税がさらに高額に、町の対応は
問 ① 国保税が引き上がる自治体となったことは確定した。納付額不足をどうするのか。また今後は。
税務住民課長 高所得者層に係る課税限度額を68万円から80万円とし、不足する額を財政調整基金から補てんする。平成31年度は、引き続き保険税率および課税限度額の引き上げについて、検討していく。



議会改革特別委員会では議会全般の事項を審議しています

今後の改革委員会については、各部門での議員間の意見交換、改革案の提案が終了したことから、各項目の意見の取りまとめを実施した後、各議員が取りまとめた意見等を確認し、各項目を採決により、決定していく予定です。

今後も継続的に審議を実施

議会改革には議員全員が参加し
各部門で活発な意見交換が

開催日	審議項目	審議内容
1月29日	開かれた議会部門	会議の公開方法や広報の手段、情報公開の方法等
2月2日	議会運営部門	会議の審議方法や議会の運営方法などを審議。特に一般質問、本会議や委員会における質疑の方法について議員から様々な意見が寄せられました。
2月23日		
3月28日	議会組織部門	議員定数や報酬、委員会構成などを審議。特に、議員の成り手の問題に関連して議員定数や議員報酬、政務活動費に関して活発な意見交換を行いました。また、予算審議の方法等についても特別委員会や全員協議会で実施すべきとの意見が出されました。

2月臨時会

子育て支援施設の工期延長で 次年度に予算を繰り越し

中央公民館のイスとテーブル購入も

平成30年2月臨時議会で上程された議案は、次のとおりです。

議案

〔議案第1号〕
公民館の備品購入、子育て支援施設の工期延長等について繰越明許費を設定

今回の補正は、歳出では、公民館和室での高齢者の利用を考慮し、イスとテーブルを購入するもの。また、歳入では、財政調整基金からの繰入金金の補正、子ども・子育て支援施設整備事業については、工期延長が見込まれるため、また、防災資機材等備蓄施設建築設計業務および中央公民館和室用備品整備事業については、適正工期確保の

ため、それぞれ繰越明許費の設定をするもので、一般会計予算を98万2千円を増額し67億4760万1千円にするもの。

※賛成多数で可決

議案への
賛成討論

〔議案第1号〕
子育て支援センターの予算繰越は疑問があるが予算全体には賛成

齊藤 博 議員

子育て支援センターの予算繰越は、適正な工期設定の準備を求める。また、入札制度について、適正な業者選考ができるよ

うな仕組みづくりを求める。開所時期についても、6月1日ではなく4月1日が妥当である。

〔議案第1号〕

子育て支援センターの進め方を指摘し賛成

竹尾 忠雄 議員

子育て支援センターの工事を実施しているのは、成田市で工期の遅れにより、指名停止をされた業者であり、心配されていた。工期を守らせるよう指導すべきであり、工事の遅れは、発注者側の指導力不足ではないか。また、このような施設は、4月1日にオープンさせるのが、発注者側の努めであり、子どもたちが一日でも早く新しい施設を利用できるようにすべき。

<臨時会での議決結果>

賛成…○ 反対…× 議長は採決に加わりません

番号	件名	本会議の採決結果																
		採決結果	濱口	須藤	酒瀬川	那須	御園生	川島	齊藤	内海	佐藤(議長)	江澤	平澤	越川	竹尾	地福	小早稲	高崎
1	一般会計補正予算	可決 (賛13・否2)	○	○	○	×	×	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○

6月定例会のお知らせ

次の定例会は、6月上旬に開会する予定となっております。会期の概要は、5月29日(火)に開催予定の議会運営委員会で決まりました。会期の概要が決まりましたら、町議会のホームページやポスターでお知らせします。

また、本会議は、一般に公開され、傍聴することができ、傍聴席の定数は25名となっております。なお、詳細は議会事務局にお問い合わせください。

☎(496) 1171

(内線251、252)

スマートフォンで 広報が 読める



マチイロ

マチを好きになるアプリ



消防団員に聞きました

- ① あなたにとって酒々井町はどんなところ？ ② 議員になったらどんな町にしたいですか？
 ③ 消防団に入団したきっかけは？ ※今年度入団した方は5人ですが、4人からご意見をいただきました。



みたに しょうご さん
 三谷 将吾 さん
 4分団 (上本佐倉)

- ① 緑があり、空気がお
いい所です。
- ② 町民の幸福度を上げ
良い町にしたい。
- ③ 酒々井町を守るため
に入団しました。



あいきょう まさし さん
 相京 当志 さん
 10分団 (下岩橋)

- ① 自然があり、暮らし
やすい所です。
- ② 他の町に負けない良
い町にしたい。
- ③ 酒々井町に貢献した
いので入団しました。



あおやぎ けんじ さん
 青柳 健司 さん
 11分団 (伊篠)

- ① 自然豊かで、静かな
所です。
- ② 今よりも、魅力あふ
れる町にしたい。
- ③ 地元に戻ってきたか
ら入団しました。



さとう ゆうや さん
 佐藤 祐弥 さん
 12分団 (飯積)

- ① 第二の故郷です。
- ② 町民にやさしい住み
やすい町にしたい。
- ③ 地域の方から誘われ
たのがきっかけです。

委員 齊藤 博
 副委員長 濱口 信昭
 委員 川島 邦彦
 委員 那須 光男
 委員 酒瀬川 健一
 委員 須藤 伸次

今号のトップ記事は予算につ
いてです。歳入歳出の円グラフ
に説明書きを入れるなど町の財
政状況をわかりやすく伝えるこ
とに努めました。これからも、
魅力的な紙面づくりに努めてい
きます。

編集にあたって



町の安全・安心の新たな担い手が誕生